

科目名	政府開発援助 ※オンデマンド授業
担当者	江上能義
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	発展途上国の開発行政には、先進国の開発援助が密接に関わっている。なかでも世界有数の援助供与国となった我が国は、近年、対外政策の中で政府開発援助（ODA）をきわめて重要視するようになり、援助政策が強調されるようになった。そこで第2次大戦後、我が国や西欧諸国が実施してきた援助行政について比較・検証し、その意義と課題について考察する。
授業の到達目標	日本および世界の援助機関の設立および活動の基礎知識を学んだ上で、日本のODAの展開過程および賠償やODAを媒介としたアジア諸国との関係史を理解する。
授業計画	<p>(1) 国際援助機関の設立</p> <p>(2) アメリカの援助政策の導入</p> <p>(3) 国際援助活動の展開</p> <p>1950年代から現在まで</p> <p>(4) 日本のODAの軌跡 1)</p> <p>(5) 日本のODAの軌跡 2)</p> <p>(6) 日本のODAの軌跡 3)</p> <p>(7) 日本のODAの特質</p> <p>(8) ODAに関する日本の行政組織 1)</p> <p>(9) ODAに関する日本の行政組織 2)</p> <p>(10) 戦後アジア秩序の形成と日本の国際協力 1)</p> <p>(11) 戦後アジア秩序の形成と日本の国際協力 2)</p> <p>(12) 戦後アジア秩序の形成と日本の国際協力 3)</p> <p>(13) 戦後アジア秩序の形成と日本の国際協力 4)</p> <p>(14) ODA改革への取り組み</p> <p>(15) 総括</p>
教科書	
参考文献	<p>・ 下村恭民・中川淳司・斉藤淳 『ODA大綱の政治経済学』有斐閣、1999</p> <p>・ 小林英夫 『戦後アジアと日本企業』（岩波新書）岩波書店、2001年</p> <p>・ 西垣 昭/下村恭民/辻 一人 『開発援助の経済学』（第三版）有斐閣、2003年</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城大蔵『戦後アジア秩序の模索と日本』創文社 2004 年 ・マイケル・エドワーズ『フューチャー・ポジティブ - 開発援助の大転換』日本評論社、2006 年 ・城山英明『国際援助行政』東京大学出版会、2007 年 	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	
	レポート 50%	授業のテーマにしたがって指示する課題レポートを提出し、その内容によって評価する。
	平常点評価 20%	授業への参加度を評価する。授業中の質問や発言および討論の内容によって評価する。
	その他 30%	出席状況を評価に加える。
関連 URL	http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index.html	
備考	<p>連絡事項は、tegami@waseda.jp 宛メールで。</p> <p>オンデマンド授業については遠隔教育センターHPを参照ください。 http://www.waseda.jp/dlc/on-demand/about.html</p>	